

議会だより編集特別委員会 研修視察報告

日 程 令和5年1月24日（火）13:00～16:20

視察場所 松本市 勤労者福祉センター 大会議室

視察参加者 本島未来、齋藤天、北沢幸保、佐々木昌、河合隆俊

視察内容及び概要

○概要

県内の11町村が参加、松本市と長野市で同時開催した、議会広報研修会に参加。
議会広報づくりの基本を学び、実際に作った広報紙に直接アドバイス頂いた。

- ① 講義「議会広報の基本と編集」
 - ② 議会だよりクリニック
- 講師：議会広報サポーター 芳野政明（よしのまさあき）
一般社団法人 埼玉県コミュニケーションセンター理事長、日本広報学会会員



○内容

住民に読まれ、伝わり議会の見える化へ「議会広報の基本編集」と題した、講義を受講しました。

発行の意義・地方議会の本来の課題・自治体広報3つの目的など、議会広報を発行する意義や目的などを改めて考える内容から始まり、広聴の重要性、議決事項の周知と経過の公開を広報することで市民に主権者として政治参加、自治意識をつくることもできることなど語られました。

基本方針、企画、編集について、他議会の広報の事例をもとに、町民参加・見出しで分かりやすく・写真やQRコードの活用・特集とシリーズ企画など、読んでもらえる広報になるための要素などを細かく解説されました。

沢山の情報をただ羅列するのではなく、簡素に整理し取捨選択することでより分かりやすくなることも学びました。

議会だよりクリニックは、町村の発行した議会だよりを講師に評価・アドバイスをいただく事ができる人気企画で、当議会発行分も厳しく評価アドバイスをいただきました。

主な指摘の内容は、メリハリや全体の情報を絞ること、もう一步踏み込んで、呼びかける様な見出しの言葉選び、金額見出しにしないなどタブー見出しについても指摘されました。町民参加ページは高評価いただき、もっと前のページで扱うことで、読ませる紙面づくりになる。など、今後の具体的なアドバイスもいただきました。

研修会の学びを次号の編集に活かしてくと共に、評価の高い議会だよりを参考に、見出しの付け方・全体の統一感・デザインなどもさらに良くし、読まれる紙面づくりをしていきます。